

地域振興推進費事業計画(自己評価書) (実績)

平成 31年 3月29日
北アルプス地域振興局

提出区分		実績			
整理番号		16	課題区分	B	
実施機関			大町保健福祉事務所	担当課	健康づくり支援課
事業名			生活習慣病予防対策推進事業	電話	直通0261-23-6526 内線2324
				E-mail	omachiho-kenko@pref.nagano.lg.jp
事業概要	目的 (目指す姿)	信州(ACE)プロジェクトを推進し、日常生活での身体活動の増加と食生活の改善を図ることにより生活習慣病を予防し、健康的で活力ある地域づくりを行う。			
	現状と課題	北アルプス地域の三大死因(悪性新生物、心疾患、脳血管疾患)死亡率(対人口10万人)は、県平均を上回っており、年次別に見ると、悪性新生物と心疾患による死亡率が増加傾向にある。 また、市町村国民健康保険及び全国健康保険協会長野支部の平成27年度特定健診データの集計結果では、男女ともBMI、空腹時血糖、ヘモグロビンA1cで、基準値を超える人の割合が県平均を上回っている。平成28年度県民健康・栄養調査結果から、運動習慣のある人の割合及び1日平均歩数が共に減少しており、北アルプス地域の状況は不明であるが、県と同様の傾向にあると推察される。 以上のことから、県より北アルプス地域は動脈硬化や糖尿病を危惧される人の割合が高いと考えられ、一層の運動の推進及び食生活改善に向けた取組が必要である。			
	内容 (変更後の内容)	◎運動習慣定着促進事業 <運動習慣定着促進講習会の開催> 地域運動指導者及びポールウォーキングに興味のある人を対象に、ウォーキングの運動効果をさらに高めるポールウォーキング講習会を大町市の運動に関するイベントに併せて開催する。 また、昨年度講習会を開催した池田町で運動活動量計とポールの一層の活用を図るためステップアップ講習会を開催する。 ◎食生活改善事業 <野菜を食べようキャンペーンの実施> ① 食育フォーラム(11月)及び地域イベントの場を活用して、市町村及び関係機関・団体との連携により、野菜摂取の啓発を行う。 ② 忙しい働き盛り世代や一人暮らしの方でも、手軽に作ることができる野菜料理集を作成し、これを基に料理を具体的に提案して普及を図ることで、野菜摂取量の増加を図る。			
	事業期間	平成30年7月 ~ 平成31年3月			
成果目標 (成果指標)	運動習慣定着促進講習会参加人数30名、ステップアップ講習会参加人数20名以上 野菜を食べよう啓発実施者数 延べ600人				
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	運動習慣定着促進事業	運動活動量計等を用いた運動手法についての講習会	167,557	講師謝金・旅費、活動量計・消耗品代	
	食生活改善事業	野菜摂取増加を促す啓発活動 簡単に作れる野菜料理集作成	166,779	報償費・旅費(栄養士)啓発用物品、料理集作成代	
合計			334,336		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	<p>【運動習慣定着促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ポールウォーキング講習会の実施 ・運動習慣定着促進講習会:大町市 10月8日、参加者10名 ・ステップアップ講習会:池田町 9月27日、参加者14名 <p>【食生活改善事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○野菜摂取を促す啓発活動 ・地域イベントでの啓発 5月20日、参加者45名(市立大町病院祭) 10月21日、参加者22名(あづみ病院) ・食育フォーラムでの啓発 11月10日、参加者165名 ・出前講座、各種講習会の場を活用しての啓発 10回 1,364名 ・有線放送を活用しての啓発 1回(9月) ○野菜料理集の作成 作成部数1,000部 		<p>【運動習慣定着促進事業】</p> <p>参加者には、講習を通じて、ポールウォーキングの運動効果と運動習慣定着の必要性を認識してもらうことができた。</p> <p>また、池田町でのステップアップ講習会では、適度な強度運動の実際を体験し、その際活動量計で得られるデータでどのように評価できるのか学ぶことができた。</p> <p>大町市のイベントは子ども連れでの参加者が多く、ある程度の時間を要する講習会への参加は難しく、参加者数は伸びなかった。</p> <p>【食生活改善事業】</p> <p>広く野菜摂取の必要性と摂取に向けた意識啓発することができた。また、野菜料理集を作成することができた。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村により運動の取組状況やニーズが異なるため、ニーズを確認しながら運動習慣定着促進講習会をまだ実施していない市町村で実施できるよう働きかけていく。 ・健康上の課題が多い働き盛り世代に対しては、県が実施するウォーキングイベントに多くの企業の参加が得られるよう周知方法等検討し実施する ・作成した野菜料理集を活用し、栄養士会、食生活改善推進員等の協力により地域での講座の開催、料理検索サイトへの掲載など関係者の協力を得て広く地域に普及啓発を図る 				